

大井川の水環境

2020年4月23日

水土里ネット 大井川土地改良区

〒427-0042 静岡県島田市中央町30番2号

電話 0547-37-7151

FAX 0547-37-1220



<http://www.ooigawa-yousui.jp>

豊富な用水を享受している一級河川大井川とは！

大井川の川名の由来は、古くは湧水のことを「井」と、用水路や流れのことを「井水」と呼ぶから、大井川は「偉大な水」「大きな水の流れ」という意味を持つ瑞祥地名であると考えられる。大井川の名は『日本書紀』に既にあり、江戸時代には全国に知れ渡っていた。

大井川の源は静岡県、長野県及び山梨県の県境に位置する南アルプス間ノ岳(あいのだけ)に発し、静岡県の中央部を南北に貫流しながら、駿河湾に注ぐ、幹川流路延長168km、流域面積1,280km²の一級河川である。



また、大井川流域は、静岡市、島田市、藤枝市、焼津市、吉田町、川根本町の4市2町からなり、流域の土地利用は山地等が約94%、水田や畑地等の農地が約4%、宅地等の市街地が約2%となっている。

この大井川流域では平均降水量は、3,100mmと多雨地域にあるため、水量の豊富な川であることから、これら豊富な水を古くから活用されている。

大井川の水利用は、農業用水としての利用が始まりで、いり樋等から取水して志太・榛原地域に送水されていた。現在では、農業用水のほか、発電用水や大井川下流域周辺を供給地域とする水道用水や工業用水としても利用されている。

したがって、大井川の恵みは、発電、農業、工業、上水等、社会・経済活動に不可欠な存在であり、その利水運用の歴史は長く、過去からの先人の知恵と努力、そして地元住民、利水者、静岡県、河川管理者等関係者の協力によって、今日まで守られてきている。これからも同様に後世に残していかなければならない大切な資源である。